お湯の魅力でお客さま満足度アップ

この特集は本社ホームページ「観光経済ドットコム」でもご覧いただけます

全国の「風呂じまんの宿」37軒を紹介

特集　10～14面

施設、料理、サービスは旅館・ホテルを構成する三大要素だが、日本の宿の魅力は何といっても「温泉」「浴場」だ。ここでは湯と設備の魅力で集客に実績をあげている「風呂じまんの宿」37軒を紹介する。

ホテル森の風 鶯宿

岩手県・鶯宿温泉

和風と洋風の大浴場

鶯宿温泉のホテル森の風鶯宿（阿部孝二社長）は、本格的なガーデニング庭園「フラワー&ガーデン森の風」に隣接する スパリゾートホテルだ。岩手山、雫石盆地を望むか、室内大浴場は欧州の宮殿をモチーフにした優美なデザイン。他に岩風呂、檜風呂、壺風呂の3種の貸切風呂がある。

客室数は計221室。このうち源泉掛け流しの露天風呂付き客室は、「四季彩」と貴賓室・特別室「嘉苑」に21室。四季彩には、露天風呂にリフターを付けたバリアフリー対応の客室もある。

▽岩手県岩手郡雫石町鶯宿10の64の1。☎0195（69）3333。http://www.morinokaze.com/

和風風呂の空中露天風呂

内大浴場にはドライサウナもある。洋風風呂は、空中露天風呂から雫石盆地の景色を見渡せるほか、室内大浴場は欧州の宮殿をモチーフにした優美なデザイン。他に岩風呂、檜風呂、壺風呂の3種の貸切風呂がある。

客室数は計221室。このうち源泉掛け流しの露天風呂付き客室は、「四季彩」と貴賓室・特別室「嘉苑」に21室。四季彩には、露天風呂にリフターを付けたバリアフリー対応の客室もある。

▽岩手県岩手郡雫石町鶯宿10の64の1。☎0195（69）3333。http://www.morinokaze.com/

南三陸ホテル観洋

宮城県・南三陸温泉

眼前に広がる水平線

宮城県三陸海岸、志津川湾をのぞむ南三陸ホテル観洋（阿部泰浩社長）は広がる水平線を眼前に、温泉と露天風呂を楽しめる宿だ。特に、露天風呂からのぞむ朝日は格別。早起きするだけの価値はある。

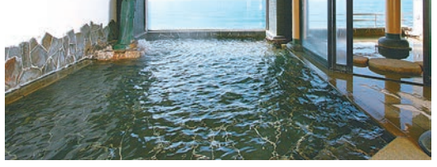
広々とした四つの大浴場がある。男湯の「磯の湯」、女湯の「浜の湯」は東館2階にあり、大浴場、露天風呂、サウナそれぞれから海が見える。露天風呂は、女性側は洞窟をイメージ、男性側は緑と和の趣が融合した岩風呂。南館4階にも大浴場があり、充実した設備を誇る。

湯は地下2千㍍から湧き出る深層天然温泉だ。神経痛、筋肉痛、切り傷などに効くといわれる。

全国に魚を出荷する阿部長商店の経営だけに、新鮮な魚介類を存分に味わえる。同ホテルの女将・阿部憲子さんが提案した旬の食材を使った「南三陸キラキラ丼」は特に賞味したい逸品だ。

震災を風化させないための「語り部バス」も運行しており、多くの人から利用されている。

▽宮城県本吉郡南三陸町黒崎99の17。☎0226（46）2442。http://www.kanyo.co.jp/



海をのぞむ露天風呂

結びの宿 愛隣館

岩手県・新鉛温泉

三つの源泉、17の湯船

岩手県新鉛温泉の「結びの宿 愛隣館」（清水隆太郎社長）は、花巻温泉郷の最も奥に位置する自然に抱かれた温泉宿だ。三つの源泉からこんのがうれしい。

大浴場「南部の湯」は熱湯、ぬる湯、古代檜風呂や岩露天風呂、立って入浴する名物の立湯露天風呂があり。広々とした浴場から庭園を眺めながらの入浴を楽しめる。

大浴場「森の湯」は内湯、シルクバスと、源泉100%掛け流しの信楽焼陶器風呂、立湯露天風呂がある。その名の通り、森の木々を眺めながらの湯浴みを楽しめる。

大浴場「川の湯」は、オープンドアの内湯、深さ90㌢の腰掛湯、源泉100%掛け流しの信楽焼陶器風呂、岩露天風呂がある。豊沢川の景色を眺めながら温泉を満喫できる。

内湯と信楽焼の陶器風呂を楽しめる貸し切り風呂「ちゃっぷん」も人気だ。

▽岩手県花巻市鉛字西鉛23番地。☎0198（25）2619。https://www.airinkan.com/

川の湯「内湯」

由良温泉 八乙女

山形県・由良温泉

海一望、二つの源泉楽しむ

「東北の江ノ島」と呼ばれ、「全国渚百選」にも選ばれた景勝地、山形県由良海岸。海に沈む夕陽が美しく、出羽三山の開祖、蜂子皇子がこの地に上陸した際、八人の乙女が出迎えたという伝説も残されている。

「由良温泉八乙女」（石川博一社長）は、ここ由良の海岸沿いに建つ景色と温泉自慢の宿。風、洋風の露天風呂を備える。

大浴場、露天風呂ともに海の眺めが素晴らしい。潮風を感じながらのぜいたくな湯あみを楽しみたい。

▽山形県鶴岡市由良3の16の31。☎0235（73）3811。http://www.yaotome.in.net/

西館露天風呂付き大浴場

たちばなや

山形県・あつみ温泉

創業367年、歴史ある温泉宿

山形県あつみ温泉のたちばなや（佐藤佐次右衛門社長）は、創業367年という古い歴史のある温泉宿。代々「佐次右衛門」の名跡を受け継ぎ、地域の温泉文化を守り続けてきた。情緒あふれる日本庭園、庄内の食材にこだわった会席料理、そして温泉と、多彩な楽しみ方がある。

館内には大浴場、露天風呂、貸し切り展望露天風呂がそれぞれ二つずつ。

東館1階の大浴場「湯の里」は男性用、女性用ともに天井が高く、開放的な造り。浴槽には絶えず新鮮な湯が注がれ、湯あみを楽しむ人々の体を包み込んでくれる。

露天風呂は男性用が石造り、女性用がひのき造り。いずれも野趣にあふれ、里山の心地良い風に心が癒やされる。春には川岸に立つ桜の花びらが舞い込むというから風流だ。

貸し切り展望露天風呂は6階にある山側の「月の湯」と川側の「星の湯」。湯船に飲み物を浮かべ、満天の夜空を眺めながらプライベートな時間をゆっくり味わいたい。

▽山形県鶴岡市湯温海丁3°☎0235（43）2211°http://www.tachibanaya.jp/

男性大浴場

ホテル紫苑

岩手県・つなぎ温泉

美しい湖望む「美人の湯」

御所湖畔に立地し、美しい湖と岩手山を望む眺望の良さで知られる盛岡・つなぎ温泉「ホテル紫苑」（菊地善雄社長）。

つなぎ温泉の歴史は平安時代にさかのぼる。平安末期の康平年間（1058～65）、源義家が有力豪族の安倍貞任を攻めた時（前九年の役）、本陣を「湯の館」（現在の岩手県盛岡市繋温泉〈つなぎ温泉〉南方の山麓）に置いた。

この時、義家は温泉が湧いているのを発見し、愛馬の傷を温泉の湯で洗うと治癒したため、義家も愛馬を穴の開いた石につないで入浴したと言われ、それ以来、繋温泉（つなぎ温泉）と呼ばれるようになったという。

紫苑の温泉は「美人の湯」として知られており、大浴場と絶景の露天風呂「ひとりじめの湯」、ラドン成分が高い源泉掛け流しの「南部曲り家の湯」がある。

「ひとりじめの湯」は、老廃物をミクロの泡で取り除き、肌をスベスベにするとともに、水の持つヒーリング効果と、浴槽から見渡せる四季の風景でリラックス効果を高める「絹の湯」、さらに、母屋と馬屋が一体となった住宅。古き良き南部曲り家の佇まいに「赤松の湯」、「大岩の湯」、さらに貸し切りを含む3カ所の露天風呂が備わる。赤松の湯にはスチームサウナが併設され、疲労回復や健康増進の効果が高い。

「檜の湯」からなる。「南部曲り家の湯」は、秘湯を思わせる内湯とライトアップによる幻想的な露天風呂を楽しめる。南部曲り家は、江戸時代に盛岡市周辺で見られる住宅。古き良き南部曲り家の佇まいに「赤松の湯」、「大岩の湯」、さらに貸し切りを含む3カ所の露天風呂が備わる。赤松の湯にはスチームサウナが併設され、疲労回復や健康増進の効果が高い。

近隣には、20種類の多種多様な風呂を備えた姉妹館「愛真館」があり、湯めぐりの楽しさも味わうことができる。

▽岩手県盛岡市繋字湯の館74の2。☎019（689）2288°http://www.hotel-shion.com/

南部曲り家の湯「赤松の湯」

ひとりじめの湯「絹の湯」